

會社は事業不振、世の中は不景氣だからだ、と云ふが、後には働く従業員はどうか、益々待遇は悪くつて殆んど人間としての生活が出来ない惨状にさせられる事は火を見るよりも明らかな事實なのです。我々は今茲でかゝる會社の暴制に戦ひ以て反省させずんば、正義は遂に泥土と化せん。我々が一身を犠牲にして奮然と躍起したるのも資本家の横暴を懲らし社會正義確立の爲めに外ならないのであります。

賢明なる町民並父兄諸君、血も涙もなき鬼の如き會社のやり方、奴隷の如くコキ使つてゐた麻糸工場、それが如何に非道であり、且暴虐の限りをつくして来たか充分なる御觀察を願ひの度です。

夜十一時作業を終つて寄宿舎に歸つた女工に手を温める火種一カケラさへ與へず、併かも電燈を消燈する爲めに便所に手サグりで行く始末なのであります。増してや可憐な十五六の子供に便所掃除やらせると云つては言語同断と云はなければなりません。

日曜に洗濯すると思へば水が上らず朝三四時頃起きてやると云ふ状態なのです。又作業に必要な、器具、物品(精紡の防水前掛) (粗紡のハサミ)なんか迄自分で買はされてゐる始末です。

遠く租元から離れて寄宿舎にゐる可憐な女子供が多数ゐるのにも不拘、病氣したからと云つては、會社に醫者もゐなければ、勿論診療所と云へなく、殆んど捨て、顧みないのが今日迄の會社のやり方であつたのです。

少く共、千人も使用する工場で醫師一人もゐないと云ふ所は恐らく日本で麻糸工場一ではなからうか。

毎々の食事にしても台湾米に、半分の麥です、日本米を食はせると云ふ此の悲痛の叫が何んで無理であらう以上の事實を申し上げた女でも、従業員を酷使する恰も奴隷の如くであつたと、御想像願へると思ひます。

我々は今日迄忍べる丈は忍んで來ました、併し之れ以上忍ぶ事は最早死より外にないのです。

親愛なる町民諸君並に父兄諸君

我々の此の悲壯なる、奪はれし人間性奪還の此の聖戰に、何卒熱き御同情と御援助とをお與へ下さいまして、我等の頭上に光と幸福とを得させて戴き度いと思ひます

目的の貫徹迄戦ふ事を誓ひし血盟の同志の正義が勝つか? 會社の非道、頑迷、暴虐を許すか、之れ偏へに賢明なる皆様の御理解と御同情に御絶する他はないと信じ、敢て嚴正なる御批判を乞はんとするものであります

歎願書

- 一、今四ノ解雇者ヲ復職セシムルコト
- 一、臨時休業ノ場合日給ヲ支拂フコト
- 一、食事食堂ノ改善
- 一、会務ヲ寄附ニシ食物ヲ注意シ日本米トスルコト
- 一、寄宿舎ノ改善
 - 1、火鉢ニ火ヲ置ケルコト
 - 2、電燈ヲ必要箇所ハ消サズルコト
 - 3、女工ニ便所掃除ヲセザルコト
- 一、賣店ノ物價ヲ普通値段ニスルコト

- 一、今後解雇者ヲ出サズルコト
- 一、退職手当制度ヲ制定スルコト
- 一、工場内ニ診療所ヲ設置スルコト
- 一、労働組合ヲ公認スルコト
- 一、此ノ問題ヲ犠牲者ヲ出サズルコト
- 一、争議中ノ日給ヲ支給スルコト

希望要項

- 一、工場衛生設備ヲ完全ニスルコト
- 一、作業ニ必要ナル器具物品ヲ支給スルコト
- 一、粗紡ニハサミ、二、精紡ニ防水前掛、一製綿ニ
- 一、水タンクヲ設置スルコト
- 一、女工ノ洗濯盆ハ炊事ノ爲メ
- 一、人事行政ヲ公平ニスルコト
- 一、股分所ヲ設置スルコト
- 一、健康保険ヲ公平且速達ニ正確ニ行フコト
- 一、男工寄宿舎ノ布置ヲ改善スルコト
- 一、及失業者ヲ移轉サスルコト

日本労働總同盟紡織労働組合

沼津 第二支部
東京 麻糸 争議 團

代表者 山田 重太郎
沼津市外下石田

日本労働總同盟本部

會長 前代議士 鈴木 文治
全 紡織労働組合
組合長(國際労働代表) 松岡 駒吉
主 事 富田 繁藏
全 沼津 第一支部
東京 モスリ 沼津 工場
市川 菊太郎
田代 新一
櫻井 忠義
外 從業員 一同

吾が紡織労働組合本部は今回の麻糸會社の暴舉に對し社會正義の爲めに戦ふ麻糸従業員諸君を全力を竭き物質的に精神的に極力應援する事を誓ふものである。